



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月31日

上場会社名 株式会社立花エレテック 上場取引所 東  
 コード番号 8159 URL <http://www.tachibana.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊武雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理部門担当 (氏名) 住谷正志 (TEL) 06-6539-2718  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	32,075	6.7	960	74.8	1,177	17.0	848	18.9
26年3月期第1四半期	30,053	10.5	549	23.6	1,006	41.4	713	60.6

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 1,122百万円(△10.0%) 26年3月期第1四半期 1,246百万円(578.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	39.12	—
26年3月期第1四半期	34.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	85,604	46,960	54.8
26年3月期	88,233	46,280	52.4

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 46,885百万円 26年3月期 46,204百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	10.00	—	13.00	23.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	11.00	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	71,000	6.2	2,100	21.0	2,450	1.0	1,700	1.3	78.40
通期	146,000	2.9	4,800	9.9	5,350	△5.0	3,700	△3.4	170.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	21,687,702株	26年3月期	21,687,702株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	3,654株	26年3月期	3,494株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	21,684,119株	26年3月期1Q	20,778,457株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益の改善に伴い設備投資や雇用の増加の傾向がみられる中、緩やかな回復基調の中で推移いたしました。

当社企業グループにおける業界におきましては、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減が懸念されるどころでしたが、半導体・液晶・自動車などの各種製造装置メーカー向けの販売が堅調に推移するなど、その影響は限定的なものでありました。

このような情勢の中で当社企業グループは、海外において本年4月、インドネシアに産業用電機品、産業機械の販売をサポートする現地法人を設立し営業を開始するなど中国、アセアン地域への販売網の拡大に努めてまいりました。

国内におきましては、福山営業所を広島支店として広島市に移転し、従来の産業メカトロニクス製品からFA機器製品にも取り扱いを広げ、中国地方一円へのサービスレベルの向上を図りました。また、株式会社大電社、株式会社立花デバイスコンポーネント並びに株式会社高木商会等の関係会社の強み、得意分野を活かした当社企業グループとしてのシナジー効果を追求してまいりました。

また、2008年より取り組んできた体質改善プロジェクト「C. A. P. UP 1500」により「売る力」の強化や、業務の改善や効率化を推し進める能力を高めるべく取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高320億75百万円（前年同期比6.7%増）、営業利益9億60百万円（前年同期比74.8%増）、経常利益11億77百万円（前年同期比17.0%増）、四半期純利益8億48百万円（前年同期比18.9%増）となりました。

セグメント別については以下の通りであります。

#### 〔FAシステム事業〕

売上高:143億82百万円(前年同期比2.3%増)、営業利益:4億75百万円(前年同期比54.2%増)

FA機器分野は、半導体・液晶・自動車などの各種製造装置メーカー向けにプログラマブルコントローラーやインバーター、ACサーボなどの主力商品が好調に推移するとともに、電磁開閉器や漏電遮断機などの配電制御機器も堅調に推移いたしました。

産業機械分野は、自動車及び建機部材関連向けにレーザー加工機が伸びましたが、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動に伴い、放電加工機が前年を大きく下回りました。

#### 〔半導体デバイス事業〕

売上高:129億86百万円(前年同期比9.1%増)、営業利益:4億95百万円(前年同期比19.8%増)

半導体分野は、民生分野向けにマイコンやパワーモジュール及び自動車関連向けにロジックICが伸びました。

電子デバイス分野は、OA機器分野向け電子デバイスは堅調に推移いたしました。メモリーカードが減少いたしました。

また、連結子会社の株式会社立花デバイスコンポーネントは電子デバイス関連が好調に推移いたしました。

#### 〔施設事業〕

売上高:25億62百万円(前年同期比6.9%増)、営業損失:25百万円(前年同期は52百万円の損失)

施設事業分野は、ビル用マルチエアコン、店舗用パッケージエアコン並びにルームエアコンなどの空調機器が好調に推移いたしました。また、公共建物向けの監視設備が売りに大きく貢献いたしました。

#### 〔産業デバイスコンポーネント事業〕

売上高:9億33百万円(前年同期比6.1%増)、営業利益:12百万円(前年同期は38百万円の損失)

産業デバイスコンポーネント事業分野は、産業パソコンやネットワーク関連機器とRFIDシステムが好調に推移するとともに、タッチパネルモニターなど映像機器が堅調に推移いたしました。

〔その他〕

売上高:12億10百万円(前年同期比48.9%増)、営業利益:3百万円(前年同期は81百万円の損失)

ソリューション事業分野は、産業用太陽光発電システムが減少いたしました。

MS事業分野は、電子機器の受託生産が好調に推移するとともに、金属部材は立体駐車場の取り扱い品種の増加に伴い好調に推移いたしました。

※ 当第1四半期連結累計期間より、従来の「情報通信事業」から「産業デバイスコンポーネント事業」にセグメント名称を変更しております。

上記セグメントの内、海外事業売上高については次の通りであります。

売上高:58億89百万円(前年同期比7.5%増)

海外事業売上高は、中国においては日系企業を中心に半導体が堅調に推移するとともに、中国(上海)及びアセアン地域でFA機器が伸長いたしました。

なお、海外事業売上高比率は18.4%であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、856億4百万円となり前連結会計年度末に比べ26億28百万円減少いたしました。

流動資産は、664億10百万円となり前連結会計年度末に比べ31億38百万円減少いたしました。この主な要因は、現金及び預金の減少11億19百万円、受取手形及び売掛金の減少25億39百万円、たな卸資産の増加12億59百万円によるものであります。

固定資産は、191億94百万円となり前連結会計年度末に比べ5億9百万円増加いたしました。この主な要因は、投資有価証券の増加5億57百万円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、386億44百万円となり前連結会計年度末に比べ33億8百万円減少いたしました。

流動負債は、360億58百万円となり前連結会計年度末に比べ34億98百万円減少いたしました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の減少20億81百万円、未払法人税等の減少8億14百万円、賞与引当金の減少6億52百万円によるものであります。

固定負債は、25億85百万円となり前連結会計年度末に比べ1億90百万円増加いたしました。この主な要因は、退職給付に係る負債の増加2億40百万円、負ののれんの減少1億25百万円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、469億60百万円となり前連結会計年度末に比べ6億79百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金の増加4億6百万円、その他有価証券評価差額金の増加3億58百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年5月12日(平成26年5月19日に一部訂正)に公表いたしました業績予想を据え置いております。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が247百万円増加し、利益剰余金が159百万円減少しております。なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,477	13,357
受取手形及び売掛金	44,496	41,957
有価証券	679	730
たな卸資産	7,385	8,644
その他	2,573	1,778
貸倒引当金	△63	△57
流動資産合計	69,548	66,410
固定資産		
有形固定資産	3,497	3,462
無形固定資産	247	243
投資その他の資産		
投資有価証券	13,769	14,326
その他	1,187	1,177
貸倒引当金	△17	△16
投資その他の資産合計	14,939	15,488
固定資産合計	18,684	19,194
資産合計	88,233	85,604
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,969	30,887
短期借入金	2,037	1,933
未払法人税等	1,160	346
賞与引当金	1,032	380
その他	2,357	2,511
流動負債合計	39,557	36,058
固定負債		
長期借入金	122	110
退職給付に係る負債	667	908
負ののれん	375	250
その他	1,229	1,316
固定負債合計	2,395	2,585
負債合計	41,952	38,644

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,874	5,874
資本剰余金	5,971	5,971
利益剰余金	31,856	32,263
自己株式	△2	△3
株主資本合計	43,699	44,106
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,335	2,693
繰延ヘッジ損益	1	△0
為替換算調整勘定	204	119
退職給付に係る調整累計額	△36	△33
その他の包括利益累計額合計	2,505	2,779
少数株主持分	76	74
純資産合計	46,280	46,960
負債純資産合計	88,233	85,604

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	30,053	32,075
売上原価	26,456	27,992
売上総利益	3,596	4,083
販売費及び一般管理費	3,047	3,122
営業利益	549	960
営業外収益		
受取利息	9	11
受取配当金	66	88
負ののれん償却額	125	125
為替差益	109	—
持分法による投資利益	146	48
その他	63	39
営業外収益合計	520	313
営業外費用		
支払利息	8	7
売上割引	41	47
為替差損	—	33
その他	12	8
営業外費用合計	63	96
経常利益	1,006	1,177
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	1,006	1,177
法人税等	292	329
少数株主損益調整前四半期純利益	713	847
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△0
四半期純利益	713	848

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	713	847
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	305	358
繰延ヘッジ損益	△4	△1
為替換算調整勘定	231	△84
退職給付に係る調整額	—	3
その他の包括利益合計	533	274
四半期包括利益	1,246	1,122
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,246	1,122
少数株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FAシステム 事業	半導体デバ イス事業	施設事業	産業デバイ スコンポー ネント事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	14,056	11,906	2,396	880	29,240	812	30,053	—	30,053
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	14,056	11,906	2,396	880	29,240	812	30,053	—	30,053
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	308	413	△52	△38	630	△81	549	—	549

(注) 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「ソリューション事業」及び「MS事業」を含んでおります。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FAシステム 事業	半導体デバ イス事業	施設事業	産業デバイ スコンポー ネント事業 (注)1	計				
売上高									
外部顧客への売上高	14,382	12,986	2,562	933	30,865	1,210	32,075	—	32,075
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	14,382	12,986	2,562	933	30,865	1,210	32,075	—	32,075
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	475	495	△25	12	957	3	960	—	960

(注) 1 当第1四半期連結会計期間より、従来の「情報通信事業」から「産業デバイスコンポーネント事業」にセグメント名称を変更しております。

2 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「ソリューション事業」及び「MS事業」を含んでおります。